香芝市立三和小学校　学校通信３１号
令和６年　３月　２２日　発行
校　長　　植　村　　貢

みつわっ子

いよいよ修了式です。4月からこの三和小学校に着任して1年が経とうとしています。三和小職員とともに、子どもたちの笑顔を大切にして、笑顔を増やしていこうと努めた1年でしたが、私自身を含めまだまだ頑張らなければならないと感じています。4月からまた新たな職員とともに、「笑顔あふれる学校」を目指し、研鑽していきたいと考えています。保護者の皆様におかれましては、三和小の教育活動に対して温かく見守っていただき、また、ご理解していただき本当にありがとうございました。至らぬことも多々あったかと思いますが、保護者の方の温かなお声かけがどれほど力になったでしょう。子どもたちの思い、保護者の方の願いに応えられるよう、次年度も頑張っていきたいと思います。最後に改めて、１年間、本当にありがとうございました。

希望に満ちた未来に向かって

三月一九日、今年もまた、三和小の六年生が旅立っていきました。今年は四、五年生が卒業式に参列し、「別れの言葉」を卒業生に直接送ることができました。そんな卒業式前週、六年生が五、六時間目を使って校内をきれいにしてくれました。本当に最高学年としての姿を見せてくれたと思います。次は、五年生！三和小を引っ張っていこう。

歌のお別れ式（1～3年生も）

卒業式前日、1～3年生と6年生との「歌のお別れ式」を行いました。

できるならば、在校生全員、卒業式で6年生との最後のお別れをさせたかったのですが、席数と体育館の広さの兼合いから、卒業式は4，5年生の参列となりました。けれど、6年生とのお別れの時間を何とかつくれないか、1～3年生にも卒業式ではないけれど、儀式的行事のような式を経験させることはできないかという三和小職員の思いから、「歌のお別れ式」を行うことになりました。

6年生の入場から始まり、1年生が卒業式当日に6年生が胸につける「胸花」の贈呈を行いました。その後、1～3年生が「きみに会えて」の曲を心を込めて6年生のために歌いました。次は6年生です。卒業式の「呼びかけ」、そして「旅立ちの日に」をこちらも心を込めて歌いました。

放課後、教室で「さみしい」と少し涙ぐんでた子が何人かいてました、と1年生担任から聞きました。業前の時間、20分間の式でしたが、「別れ」という大事な経験を少しだけでもできたのではないかと感じています。

（保護者の皆様へ）

学校通信「みつわっ子」を読んでいただきありがとうございました。「ミマモルメで」という声も聞いたのですが、何よりも三和小の子どもたちが「みつわっ子」を楽しみにしていると聞いたので、紙媒体で配布させていただきました。ただ、カラーで見ていただけるように、三和小のHPにカラー版を載せていますので、もしよろしければそちらもご覧いただけたらと思います。

また4月から続けていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。